

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 8月 20日

事業所名 児童通所支援事業所りらく城西

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○			学習スペース、静の活動場所など改装を行っています。
	2 職員の配置数は適切である		○			10名に対し4~5名以上の人員配置を行っています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○				段差をなくし、傾斜には滑り止めマットなどの配慮を行っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○				ミーティングにて情報共有を行っています。また全職員に伝達を行えるようにしております。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				年に1度アンケートを行っており、頂いたご意見で現在支援内容を改善しております。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				公開しております。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		外部評価を受けておりませんが今後は受けていきたいと考えております。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				事業所の内外で研修を行っております。年に1度は外部の研修を行っております。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				見学時や契約時に聞き取りを行い、作成を行っています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				個人調査表を使用し状況の把握に努めております。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている			○		今後行う予定があり、職員間で意見交換を行っています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				室内、屋外など様々な活動をご用意しております。季節の行事などもおこなっております。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○			計画はありますが、実行できていないところがあり、本年度より改善を行っていきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○			個人にあつた計画書の作成を行い、職員間でも課題の把握、対応を行っています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				開始前にミーティングを行い、スタッフ間の共通理解を行っています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				当日支援にあつた職員全員で話し合いを行い、記録を職員全員が把握できるようにしております。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				職員全員で記録を行っています。また管理者が記録の確認を行い、全職員に伝えるようにしています。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○					
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		○				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	○				職員から聞き取りを行い、児童発達管理責 任者が出席し情報交換を行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	○				送迎時に、担任や支援部の先生方と情報交 換を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	○				保護者様を通じ、連携を取っております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている		○			相談支援員を通じ、情報収集を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	○				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	○				研修に参加しております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある			○		コロナ感染症により交流を行っておりませ ん。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	○				送迎時やまた別の日に時間を設けさせて頂 き、保護者様との共通理解を図っておりま す。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		○			職員が研修を受けておりますが、実際には行か せておりません。今後スキルアップを図ってい きたいと考えております。	
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	○				契約時に行っておりますが、変更時には必 ず管理者がお伺いしご説明を行うようにして おります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる		○			保護者様に直接お会いしたり、電話連絡な どでの支援や助言を行っております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		○			今後行っていきたいと考えております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	○				苦情相談窓口を開設しております。ご契約 時に説明をしております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している			○		定期的ではないですが、その都度お知らせ を行っております。今後は口頭だけではなく お便りなどの配布を行いたいと考えておりま す。
	35	個人情報に十分注意している	○				保護者様に個人情報の取り扱いについて説 明し、同意書を頂いております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている		○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている		○			隣接する老人デイサービスの方々をご招待 し行事などを行っていききたいと考えておりま す。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○			ファイルの作成は行っており、職員への周知は行っておりますが、保護者様にはお知らせできておりません。今後お知らせを行う予定です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○			定期的な避難訓練の計画をたてていますが、実行できていないところがあります。今後は2か月に1度のペースで行っていく予定です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				内外で研修を受けております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				保護者様に周知を行い、同意書を頂いております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				保護者様を通じ情報を得ております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 8月 20日

事業所名 児童通所支援事業所 りらく城西

保護者等数(児童数) 31名

回収数 15枚

割合 40%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9			6		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか		12		3		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか		15				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		10		5		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	3				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	3				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		10		5		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			15			今後保護者会の開催を検討中です。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	7				
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3	5		10		支援前にミーティングを行い、情報共有を行っています。
	13 定期的に広報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか		5		10		ホームページにて掲載しております。
14 個人情報に十分注意しているか	10			5			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		10		5		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			13		2か月に1度避難訓練を行っています。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	15					
	18 事業所の支援に満足しているか	13	2				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。